

J R 曾根駅整備に関する地元説明会（R7.6.2）Q & A

番号	質問	回答
1	安全性の再確認 ・柵内通路と既設跨線橋の交差点、特に曲がり角が危ない。	設計において安全性に問題がないことを再確認しました。
2	姫路-大阪間で柵内にトイレの無い駅	全 39 駅中 2 駅 (ひめじ別所、東姫路)
3	現計画の 3 改札のうち 1 改札を 1 階に下ろせないか	改札は JR 施設となるため協議を続けていましたが、J R は新たな施設の設置を必要としていないため市が費用を負担しても困難であると回答がありました。今後も継続して事業完了まで要望していきます。
4	駅員の配置	現状からの変更がないことを J R 西日本に再確認しました。
5	トイレの安全性	新しくできるトイレについて高砂警察生活安全課と協議を実施しました。過去の事例、他の公衆トイレの状況を考慮して計画に反映します。
6	(P.16 の比較表 I 案) 安全性の○はおかしい。今より格段に落ちるので×だ。	施設管理者の鉄道事業者も適正な設計としていますので○とします。
7	(P.16 の比較表 I 案) 経済性の○はおかしい。III 案より劣るので△だ。	事業費においては精査して国からも事業採択を受けていることを踏まえて○とします。
8	(P.16 の比較表 III 案) 地元要望×はおかしい。レイアウトを考え直せば○かもしれない。	要望内容に合わせた道路幅員で比較しています。また、比較表の III 案には、用地買収費、補償費及び測量業務委託費等は計上しておりません。
9	(P.14 地元要望) 地元要望事項に 3) として構造についての地元との交渉記録を記載してほしい。	駅舎及び連絡通路（柵内通路）は J R 西日本が所有する施設となるため、構造については交渉事項ではありません。